

「脳科学と教育」研究の推進方策について

背景

近年、人の脳機能の**非侵襲計測技術**が大きく進展
脳に関する研究の進展
脳研究を基礎とした学習機能の解明に向けた**国際的な機運の高まり**

目的

人が本来有している能力の**健やかな発達・成長**や維持を目指すこと
胎児期を含む人の**生涯に亘る学習の仕組み**の解明

教育の場における課題に対して脳科学をはじめ関係する科学は如何なる貢献ができるのかという観点から検討

教育学、心理学などの人文・社会科学分野

脳科学などの自然科学分野

架橋・融合

「脳科学と教育」研究という新領域の創出

「脳科学と教育」研究の戦略的取組

研究領域の設定

「教育の役割」、「教育を取り巻く環境の変化」に由来する教育の場の課題を踏まえた研究領域

研究方法論に関する研究領域を設定

優先度づけ

これらの研究領域について緊急性と重要性の視点から評価を行い、集中して取り組むべき時期を設定

研究体制の整備

長期的・戦略的研究を可能にする研究体制の整備

集中して取り組むべき研究領域の例

注意力、意欲の増進や動機づけ、創造性の涵養に関する融合的研究

教育課程・教育方法などの開発のための知識の集積に関する研究

環境要因が脳機能に与える影響と教育への応用に関する研究

体制整備の例

長期的な縦断研究やコーホート研究が有効であり、医療機関等の連携体制の構築が必要

留意事項

人間の尊厳や個人のプライバシー保護

正確かつ解りやすい情報発信